

口腔がん検診事業について

1. 概 要

「口腔がん検診」は平成 29 年度より神戸市歯科医師会が自主事業として実施してきたが、令和 6 年度からは神戸市のがん検診事業の一つとして位置づけ、神戸市歯科医師会に委託して実施している。

令和 6 年度より、がん検診全体で一体的な広報を行うとともに、新たに年齢制限（40 歳以上）、WEB 申込みおよび自己負担（500 円）を導入した。広報紙こうべでの毎月の啓発はなくなり（令和 6 年 9 月以降）、市ホームページ等での広報が主体となった。

2. 令和 7 年度の実績

令和 7 年度より 40 歳総合健診の個別案内を文字数を少なくして、受診行動を一目でわかるように変更するとともに、口腔がん検診の無料クーポン券を同封して 4 月末に一斉発送した。

送付した直後より受診申し込みが殺到し、受診枠が即日予約で埋まり、下半期以降も 40 歳無料クーポンを利用した受診が大きく伸びた。

	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代～	計
R6 年度 2 月末	76 (14.4%) 【14】	142 (26.8%)	162 (30.6%)	108 (20.4%)	41 (7.8%)	529
R7 年度 2 月末	484 (56.4%) 【432】	123 (14.3%)	133 (15.5%)	93 (10.8%)	26 (3.0%)	859
増減	+408 【+418】	△19	△29	△15	△15	+330

※【 】内は 40 歳無料クーポンの受診数

3. 令和 8 年度の取り組み

- ① 40 歳総合健診の中で、口腔がん検診については無料クーポン券は発行せず、案内のみとする。
- ② 4 月末に個別案内を送付（40 歳）直後に受診希望が殺到するため、6～9 月の 4 か月のみ受診者枠を拡大し、24 人/回とする（それ以外は 18 人/回）。
- ③ 幅広い年代への啓発として、50 歳・60 歳の歯周病検診および 65 歳・75 歳のオーラルフレイルチェックの個別案内においても、口腔がん検診の案内を入れる。

4. 今後の展望

今後の施策展開としては、口腔外科専門医に限らず、地域のかかりつけ歯科医が口腔がんチェックができる体制づくりを視野に入れるなど、口腔がんの早期発見・早期治療のあり方について検討していく。

<参考> これまでの口腔がん検診の実績

	受診者 総数	性別		年 代							異常 なし	異常あり 要精検	その他	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上			紹介状 *1	要歯科 受診*2
平成29年度 (12月～)	165	47	118		3	26	32	48	46	10	154	11	5	29
平成30年度	778	191	587	5	11	72	134	239	250	67	748	30	29	179
令和元年度	788	214	574	8	14	76	130	220	278	62	772	16	10	155
令和2年度	612	165	447	4	13	59	117	178	186	55	588	24	6	70
令和3年度	599	171	428	6	13	67	109	166	177	61	586	13	9	79
令和4年度	599	180	419	2	16	36	102	191	198	54	574	25	10	62
令和5年度	598	161	437	4	15	42	124	162	173	78	575	23	3	63
令和6年度	565	159	406			81	152	175	115	42	546	19	0	6
令和7年度 (～R8.2月)	859	260	599			484	123	133	93	26	837	22	12	48

40歳以上
に限定

*1 紹介状：粘膜疾患などのため病院歯科（口腔外科）へ紹介

*2 要歯科受診：歯科治療などのため一般歯科（歯科医院）へ受診勧奨